

Prisoners for Peace Day

12月1日ー反戦平和のために捕われている各国在獄中者のための日ー

過去17年にわたってWRIは、この日を、兵役を拒否し刑罰を勤めてい
る人、徴兵や軍事義務を拒んだり反
対し受刑中の人たち、ための日とし、
その名前と刑務所名を掲載したりス
トを作成してきた。そしてそのリス
トによるクリスマスカードや手紙状
が各地から送られるよう、多くの入
々や組織に訴えてきた。

今年もそのリストをつくるため、
WRIは次のことを依頼する。
一九七四年十二月を刑務所で過す
首圖のすべての戦争抵抗者、C.Oに
関する情報を送られたしー
1 受刑者の氏名、刑務所名と所在
地名。(兵役拒否の罪名で処罪され
ていなくても構わない。)
2 可能ならば、受刑理由、罪名、
刑期、その開始と終了年月日。
3、宗教的抵抗者として「エホバ

War Resisters International-Japan Group - Japana Grupo de Internacio de Militrezistartoj - 354, Kameyama HIMEZI, Japan.

WRI

一九七四年十一月二日発行 姫路市龍山三五四 向井方 戦争抵抗者インターナショナル日本部 印刷編集発行

WRI本部通信より

11月1-3日 於ベルギー・ブラッセル

準備号 No. 3

非暴力直接行動

Ne Perforta Rekta Agado n-ro 3, nov, 1974. 354, Kameyama HIMEZI, Japan. WRI-JAPAN 戦争抵抗者インターナショナル日本部ニュース

11月1-3日 於ベルギー・ブラッセル
試筆 ①②③④⑤⑥⑦ 書記局ブラッセル移転の報告 ⑧ 人権・M・ホドマー氏辞任報告と、人権委員の先試験要の報告 ⑨ スエーデン平和と調整委員のWRI加入申請、前その全体集会で同委員WRI内に部会を作るよう要求している。郵便投票により採決することを提案。⑩ 入平和のためのキリスト者運動V.M.C.P.の宣言は、前委員会におけるワシントンレポートの報告と異なり、WRIの誓約とくいちがう部分がある。M.C.P.はWRIの加盟組織となりたいためか、部会条件によるものか、この裏につきM.C.P.のAジレーが当日招かれる予定 ⑪ M.C.P.提出加盟申請に関する件。前回の委員会での申請の決定は、理事会の見解をきいてなされることになっていたが、エフ・R(国際友和会)は難色を示している。理由は、思想的なものと、M.C.P.には具体的な年度計画等ほとんどないという点、エフ・Rのワタ内で、若い集りに刺激を与えたり、圧

力をかけたリしたくない、という事にある。
⑫ ICDDP代表選挙、一月二五日のICDDP会議と理事の指名 ⑬ 会計報告 ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
㉞ 中東問題ー理事会による計画概要と活動報告、その活動予算を全めた中東問題報告の設立 ㉟ WRI国際大会(三ヶ月に一回)の件ー折、日村、構成、議題、非暴力案(その適否を名をめぐり)企画、委員選出と委員付託事項、資金などについて、基本規約の改正、理事選挙、WRIの目的と役割、その他の文章活動について ㊱ 戦争抵抗キャンペーン・シヤン・アブルは、今秋フランスの徴兵義務と市民奉仕に対して拒否する。WRIはその支援のため、どの程度として如何に、キャンペーンをすすめるか。K・ハインゼンクは、国家及び軍事要求に奉仕せず、国民のための奉仕を呼びかける文章を用意している。㊲ 仏ラルザック反のキャンペーンの成功とその行動報告。(次頁へ)

市川より

15日の東京のデモそのものは良かったと思うのですが、前のゲリラシアターの時ほど楽しくありませんでした。全く訓練なしでパピーニングを期待するのは私は恐らく看守役を演じながら、ハッピーグを防ぐ方にまわってしまいました。今後のまとめりをつくるオーストとして、今度のデモは評価できると思うし、風の会という名称に足らぬが、つなかりを大華に着せていきたい。WRI市川は昨日の日本化へのデモの集会で落成集会をやり、29日は所沢にのりこみアピールして拍手を浴びるなど、戦争抵抗者という名が注目されています。植はまだ雪ができていないまま持歩いています。ゴラは昨日までに用意し、新聞社へのデモの集会などで配る予定。地許市川では、市内戦争関係地図を、自転車という機動力を活用して、作りたいと思っています (古沢)

②6. ビエトロ。ビエンナ(W.R.I.理事)は刑務所へ入れられるかもしれない。彼を支援する目的にできることは何か
②7. 出版 ②8. 例年実施している12月1日ピースデー(平和の日)の入獄中の人たちのための日、検討と評価
②9. 国際連合人権委員会と良心的兵役拒否の件。七五年春ジュネーブでひらかれるH.R.C.会合のための対策と戦術、代表選出。

ミクロネシア・ポリネシア問題

③0. 日本W.R.I. 原子東橋の提案による水爆実験被爆下にあるミクロネシア・ポリネシア住民のため、W.R.I.が積極的に関与することと文書活動。これらの地域の住民は、オニ奴大戦後も、引続き戦争の傷痕に悩まされている。③1. 略 以上。

(W.R.I.日本部は、過去十数年マイシヤル群島住民のビキニ被爆問題に関心をもっていたゆかりから、当面このミクロネシア・ポリネシアキヤパンに力を入れ、W.R.I.本部へも働きかける方針をとっている)

資料 ニュージーランドの核基地と日本

ミクロネシア友の会ロジャーゲール

廿九年前、東京から千五百哩ほど離れたニュージーランドが飛ぶ立、広島に原爆を投下した。その三日後、同じ島から別の巨弾が飛び、長崎に原爆を落した。そして四半世紀たった今日、ペンタゴンはかつて原爆投下の発進基地ニュージーランドの要製化する計画を発表し、近頃のガムと同じく、アジアにおける最大の最も戦略的に重要な基地化をすすめている。

ニケソンドクトリンの一環としてかなりの数の米地上軍がアジアから撤退している。それはあたかも太平洋におけるアメリカの軍事的影響力の総体的引揚げであるかのような幻想を与えながら、なお数十万がタイ・フィリピン、日本に残ると共に新しい技術的兵隊が撤退した地上軍に代っている。その上、アメリカはアジア大陸の軍政削減と同時に、アメ

漢字をお読み下さる方は
宛名記入封筒に20円切手
貼付 下記もよりへ申して下さい

W.R.I. 姫路 姫路市白鷺町51番地東橋
W.R.I. 京都 京都市中京区西陣区西本町1番地東橋
W.R.I. 旭市 旭市旭町1番地東橋

川崎市中原区上原5丁目1番地東橋
東京都葛飾区佐田5丁目1番地東橋
前川市中山三丁目1番地東橋

の計画をストツプさせることはできない。つまり太平洋のテニアン近隣住民の反対こそ必勝だ。そしてテニアン住民も現実に何が起ろうとしているかを知っている。

これに対しアメリカは、この島の土地取引を停止したうえ、住民の軍隊に對しての国民投票を行なおうという計画に拒否権を発動した。つい六月には、沖縄からの海兵隊部隊がテニアンに進出し、陸海空攻撃練習を行った。基地建設はまだながら既にここを基地とする軍隊の数も基地聖書も、当初予定の二倍以上となっている。……

ポリネシアの核実験

(仏領ポリネシア選出議員) フランシス・サンホード

私はプファナウパ上院議員と共に署名して、国連を通じ、又仏議会を通じて、仏領ポリネシアの独立のための国民投票を要求した。フランスの核政策はこれまで我々を追いやってた。

即ちフランスの核爆発をもちやポリネシアで行かせないために、独立する以外にない懸念にまで事態が緊迫している。
地図では殆ど判らない、小さなムルロアで実験が行われている。フランスがタフでも実験が行われた。この二つの距離は二七キロ。ところがフアンガタフと三八キロ離れたガンビエールには人が住んでいる。ムルロアから一二六キロのツレイアにも人が住んでいる。ムルロアとハオは四三キロだが、ハオにも人が住んでいる。潮の流れは北西にむかっている。その北西の方向には、ツアモツ諸島の全てとタヒチ・ポリネシアのすべてが並んでいる。このおそろしい状況のもとでポリネシアはフランス核兵器のモルモットではないと云えるだろうか。私はポリネシア選出の議員であるにもかゝらず、ツレイア、ガンビエール、ハオへ行つて私を選出した住民とあうことを禁止されている！
政府は来年になつたら大気圏実験

リカ支配下のミクロネシア諸島では、その軍力を急速に増大している。すでにガムは米国外の最大の海軍母港であり、これを基地とする船の数は、東年で二倍となる。またニュージーランドに於ける最大の前進基地となり、また最大の核兵器貯蔵とアメリカ軍の訓練基地として一敵対的な国民やマスコミのせしめから遠く離れた処に安全かつ孤立した軍事要塞を築くという新しいアメリカの戦略センターとなる。
日本、沖縄での反米、反基地運動、フィリピンでの解放勢力の行動、タイの政治的敗北、オーストラリア、ニュージーランドのデモなど全て、ペンタゴンにこれらの島の基地構想を拡大させる原因となつた。
私たちのミクロネシア友の会は、テニアン基地再建と拡大を阻止するキヤンパンを行つてきた。しかしこれだけでペンタゴン

をやらぬと表明した。そして現在フアンガタフに穴を掘つている。エニウエトクの場合のように地下実験によつてフアンガタフの小さな島がいくつかなくなつてしまふだろう……

(参考) 大田新聞八月五日夕
ポリネシア住民の健康についてサンマード氏が昨年白血病申状を患ったこと、データを要したところ仏政府は拒否、タヒチにある検査センターで実施している魚飼養牛乳などの放射能分析結果も一切秘密で公開しない

しかし現地ムルロアで実験準備で住む住民に対し、魚をばらばらと指示が出ており、周辺三つの島の住民も、毒があつて魚は食べられないと云っている。この島には「死の灰」をまける地下壕があり、水爆実験直後瓦向きの養化で全島民が臨時向地下壕に収容された。当局は民衆の扇動に海水をかけ死の灰を洗つたがそれ以上の指示もなかった。